

市の財政状況を示す 財務書類4表

企業が毎年決算を発表しているように、自治体も毎年度の財政状況を公表しています。今回は、本市の平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)普通会計(※)の財政状況の分析結果をお知らせします。全国的な様式である「財務書類4表」というものを用いて説明します。

※普通会計とは、一般会計と特別会計の一部(本市では土地取得特別会計と卯塚墓園事業特別会計)を合わせた会計のことで、市町村間の財政状況の比較に使われます。

長久手市は将来世代への負担が類似団体と比べて少ないんだよ。計画的に借入れをしたり、蓄えをしてきたからなんだ!



平成26年度の財政状況分析結果

貸借対照表バランシート (H27.3.31現在)

市が所有している資産の種類と金額を左側に、その資産を取得するための財源を右側に表すことで、資産や負債の現状を把握できます。

資産の部

1,397億8,700万円
(昨年度比 +2億6,200万円)

公共資産 (道路、公共施設などの固定資産)	1,223億5,000万円
投資等 (基金など)	146億9,100万円
流動資産 (現金など)	27億4,600万円

負債の部 ポイント!

(地方債などの将来世代が負担する額)

83億6,300万円
(昨年度比 +2億1,700万円)

純資産の部

(今までの世代が負担した額)

1,314億2,400万円
(昨年度比 +4,500万円)

この年は、市が洞保育園や民間保育園2園が開園したんだけど、3園とも民営だから、物にかかるコストが増加したんだって。

行政コスト計算書 (H26.4.1～H27.3.31)

自治体の支出のうち、行政サービスを提供するためにかった消費的な支出の内訳がわかります。



項目	平成26年度	平成25年度	
A 経常行政コスト	142億9,900万円	136億4,600万円	
内訳	1 人にかかるコスト(人件費など)	26億8,100万円	26億200万円
	2 物にかかるコスト(消耗品や減価償却費など) ポイント!	50億8,300万円	47億8,300万円
	3 移転支的的なコスト(社会保障給付金や他会計への支出)	64億2,800万円	61億6,400万円
	4 その他のコスト(公債費等の利息など)	1億700万円	9,700万円
B 経常収益(使用料、手数料、分担金など)	5億3,300万円	4億8,500万円	
C 純経常行政コスト(A-B)	137億6,600万円	131億6,100万円	